



Subaru

男声合唱団 ニュース №345 '12. 01. 29

醍醐さん安らかにお眠りください

□ T 2 の醍醐俊夫さんが、急逝され、1月26日（木）にお通夜、27日（金）に告別式が箕面聖苑でとり行われました。去年末までお元気でしたが、せきこむようになり、1月2日に入院、その後病状が悪化、足早に悪くなられ、肺がんがかなり進行していて、ご逝去になりました。68歳でした。ご家族の方々も突然のことで大きな悲しみとお悔やみの想いで一杯でいらっしゃいます。我々、昴団員一同も、めったに

レッスンを休むことなく熱心に合唱活動をされ、篤実なお人柄を頼りにしていただけに、衝撃と悲しい淋しい想いで一杯です。守る会の活動など地域の絆を守る活動も、最前線で熱心にご指導、ご活躍されていました。哀惜の念はつきませんが、いまはただご冥福をお祈りするのみです。



□ お通夜は式場に入りきれないほどのお参りで、昴関係は6名がお参りしました。檀さんはご夫妻でおみえでしたが、「離れていても」を東北震災支援で作ったCDのカラオケピアノをバックにソロで献唱されました。



思い出の写真集の額が傍らに添えられていました。

撮影：長屋正義さん

□ 告別式も大勢の参列で、昴は読経のあと冒頭に、本並先生のアコーディオン兼指揮で「フィンランディア」を献唱しました。告別式の昴の参列はOB 2人を含めて25名でした。

□ 納棺の衣装は昴の青の舞台衣装で、脇には亡くなる直前に届いた昴の楽譜が添えられていました。



「フィンランディア」を献唱
写真：長屋正義さん提供

美しき青きドナウほかレッスン

1月20日

□1月20日(金)は奥村さんの体操の後、檀先生のヴォイストレーニングと指揮、森先生のピアノで、「おらあこごがいい」、「私の好きなこの街」と、「美しき青きドナウ」をレッスンしました。参加は全31名でした。

「希望の灯り交流コンサート」大成功! 芽吹いて来た「うたごえの種」

□檀美知生、村嶋由紀子夫妻は、5度目の陸前高田入りをして、「新年に復興を誓う 神戸から陸前高田へ」として「希望の灯り交流コンサート」を「希望の灯り」が灯されている「気仙大工左官伝承会館」で催しました(1月15日)が、その際の、かのんちゃんと村嶋由紀子さんの記事が毎日新聞1面トップで報道されたことは既報のとおりです。

□その詳しい報告が檀さんから以下のようにありました。

□CD「おらあこごがいい」



・交流コンサートへ向けての電話の中で、「おらあこごがいい」などのCDが欲しいとの要望があり、現地への出発の直前の1月8日に録音しました。メンバーはソロの檀さん、この為に結成した「アンサンブル アモーレ」の女声6名と早川奈穂子さんのピアノで、収録曲は、「おらあこごがいい」、「私の好きなこの街」、「めぐる春に」、「離れていても」、「風の花の色」、「絵手紙」、「百万本のバラ」の7曲、それに、練習ができるよう6曲のカラオケピアノが入っています。

・録音、編集は吉竹雅弘さん、CD作成はジャケットとも本並先生、題字はいつも春山和歟先生で立派なCDが出来上がりました。

・コンサート前日の「お茶っ子の会」(後述)でCDが出来たことを披露すると、30名の出席者全員が欲しいといいだされ、CDが現地に到着した翌日には全員に行きわたりました。最初はプレゼントのつもりでしたが、皆が、支援なれど本意ではなく、本当に欲しいものは自分たちで買いたいとの申し出だったので、実費(ちょっと足りない?)のみ申し受けで頒布しました。後日談では、CDプレーヤーを持っていない人まで、手をあげて購入したそうです。

・コンサートの席でも欲しい人が続出、作った50部では足りなくなって、他に予約が30部入り、本並先生に電話して、急ぎよ、もう50部作ってもらいました。

・昂の団員にもカンパ込みの支援価格で頒布しますので、ご協力ください。きれいに採れていますし、装丁もなかなかの出来上がりです。

□「お茶っ子の会」

・前日の1月14日午前に、第一中学の仮設住宅集会所で「お茶っ子の会」を開き、30名の参加で、アカペラで「故郷」など歌ったり、檀さんが「おらあこごがいい」を歌ってまた、会場が涙したり、被災の時の話など語り合ったりしました。

・参加のひとり、78歳の元校長先生は、津波が押し寄せる中、山道を片手で奥さんの手を引き、片手で笹竹を握り締めながら避難しているあいだに、脳梗塞との握力不足で手が離れてしまい、奥さんが流されてしまったそうです。被災前から、「フラワーロード」のガーデニングでボランティアされていましたが、また、ぼちぼち、小さな「フラワーロード」を作り始めておられるそうです。

□「希望の灯り交流コンサート」

・1月15日(日)に「希望の灯り交流コンサート」を開きました。会場の「気仙大工左官伝承館」の庭には神戸のボランティアから寄贈された、阪神淡路大震災を記念した「希望の灯」が分燈されていることもあり、会場に選びましたが、当日は会場に入りきれないほど聴衆が集まりました。150部用意したブ



ログラムがすっかりなくなりましたのでそれ以上来場されたと思われます。

・「私の好きなこの街コンサート」に参加され、その後、山下先生へお礼状を下さった大塚和子さんは、当地で頑張っておられる音楽の先生で、弟子が沢山おられます。「こーらすまつぼっくり」を指導されていますが、団員5人も津波で失い、ピアノに向かえない日が続いていましたが、コンサートをきっかけに練習を再開され、今回の「交流コンサート」では、その団員たちを中心に、会場の下見とか、まわりの人をさそったりして積極的に関わってくれました。大塚和子さん自身、「交流コンサート」へ向けて電子ピアノを新規購入されて望まれるほどの力の入れようでした。「私の好きなこの街コンサート」では、良いコンサートだったのに聴衆が少なくて申し訳なかったと言つておられたそうです。「こーらすまつぼっくり」は、子ども5人を含め、20人でステージに上り、力強い再開のステージをされました。



・かのんちゃんは、練習して臨んだ司会を村嶋由紀子さんと元気に明るくつとめ、また檀さんとデュエットで、「ロケットくれよん」の他の曲を、前回よりしっかりした声で歌いました。震災遭難のけなげな姿におばあちゃん他、多くの観客が涙し、勇気づけられました。

・かのんちゃんが、去年の「私の好きなこの街」コンサートに来たのは、我々が宣伝勧誘で、第一中学からは少し遠いので無理かなと思った鳴石団地に行ってビラを持って戸別訪問した際、かのんちゃんのおじいさんが応対に出て、「孫たちを行かせますから」と言ってくれたのがきっかけだったそうです。

・前回の「コンサート」でお世話してくれた、ジャンボ高橋さんも、今回、仙台から貸切バスで、「合唱団ふきのとう」のメンバー20人と乗りこんでステージを勤めてくれました。写真ダイジェスト集も作って送

ってくれました。（次頁）

・高田合唱団というレベルの高い混声合唱団があり、震災後活動を休止していましたが、団員が我々のコンサートに参加して刺激をうけ、この春から再始動の準備をすることになったそうです。

・仮設での民謡踊り同好会では、こちらの提案で「おらあこごがいい」を踊る練習をはじめたそうです。今年の盆踊りには皆で踊れることでしょう。

・他にも、「私の好きなこの街コンサート」で出会った人たちが、友達をさそって今回の「交流コンサート」に集ってくれたことも含めて、あの時播かれた「うたごえ」の種が、様々な場所でしっかり芽吹いてきた実感を抱きました。

□ その他の支援活動

・被災された家族との交流：松田さん・・・右は、松田さんの仮設住宅をお邪魔した時の写真で、家族8人、女の子の子と男の子の双子が両親を亡くしひきとられた子どもたちです。松田さん（おばあちゃん）はカラオケの先生をやっておられたそうで、第一中学体育館の支援コンサートのうたう会でマイクでとてもうまく歌われていた方です。「こーらすまつぼっくり」の臨時団員として今回伝承館でも「私の好きなこの街」「おらあこごがいい」を一緒に歌われました。（電話交流などで親しくなったので、先に、大勢のお孫さんに食べてもらうべく、名物神戸コロッケ100個をお土産に送りました。）



・かのんちゃんが通っている高田小学校に行き、今回かのんちゃんを、司会や歌でステージに出し、新聞に大きく取り上げられたこともあります、担任の先生と校長先生に挨拶に行きました。校長先生は、村嶋由紀子さんの「復興担当教諭」の経験をもとにした論文（既報）をあらかじめ送っていましたが、読んでくれていて、しばし交流面談、かのんちゃんの心のケアとしてのかかわりを、よく理解してもらいました。

・男声合唱団昴団員として匿名でカンパをもらいました。感謝と共に、今後の活動に役立てて行きます。

□ 「今後の展開・・・提案・・・」

・「陸前高田私の好きなこの街コンサートパートⅡ」(仮称)に向けて

- ・播かれた種が力強く芽吹いて来て、かかわった者としての歓びを感じています。
- ・しかし、当地では、津波対策の実施も含めた復興は大事業で、まだまだ復興まで程遠く、生活基盤を持つまでは長い道のりがあり、それまでは仮設暮らししがずっと続くわけで、特に心・糸としての継続的な支援は欠かせない状況にあります。
- ・当地で「うたごえの芽」がふたたび芽吹いたことを受けて、今度は、今年の夏の良い時期に「陸前高田私の好きなこの街コンサートパートⅡ」(仮称)をかなりの規模で開き、「うたごえで街おこし」の支援活動を進めることを提案したいと思います。今回のコンサートで、その実現の可能性と必要性を大きく感じました。

・「私の好きなこの街復興支援プロジェクト」を立ち上げます

- ・今後の展開へ向けて本格的に、「私の好きなこの街復興支援プロジェクト」を立ち上げたいと思います。
- ・積極的に関わって頂ける方はどうぞ、プロジェクト員に登録をお願いします。
- ・また、「賛同者」も募集しますので登録をお願いします。
- ・呼びかけ文を作ります。



「合唱団ふきのとう」のジャンボ高橋さんが作ってくれた「希望の灯り交流コンサート」の写真集

「『昂』ってどんなとこ？コンサート」のアンケートを提出してください

- 1月20日に第5回のプロジェクト会議を開きました。
- 配布資料は「申し入れ書（アンケート付）」「ピラ表」「ピラ裏」の3枚です。
- 申し入れ書とピラ表、裏の原稿に対して、キャッチフレーズなど、これでいいか各自の意見をアンケートで書いて各パートプロジェクトメンバーに提出して下さい（29日のレッスン時）。
- 団員の総意をあつめて、これらを作りたいと思います。
- 2月中にピラ、ポスターを作り、3月からオルグ活動に入ります。
- 担当地域割表に名前を記入してください。各地域でリーダーを決め、作戦会議を持ちます。

千秋教室だより

- 1月18日（水）6時30分～千秋教室を開きました。
- お通夜の人が一人、肺炎で入院中の人が一人。2月からくると言う人が一人。仕事が急に入って来れない人が一人。結局3人の教室でした。
- 新しく関西紫金草合唱団のアルトの藤井さんが見えられました。
- また、新しく、半ばボランティアでピアニストが来てくれました。コール大東で練習ピアノをしている池辺しのぶさんです。発声のあの、「コンコーネ50番」と、武満徹の「小さな空」の練習の伴奏をしていただきました。
- 2月は 第1水曜日（2月1日）6時30分から「ねむかホール」です。
引き続き、「コンコーネ50番」と、「小さな空」をやります。
- ピアニストも毎回来てくれる予定です。
- 楽しくやっていきたいと思います。是非、足を運んで下さい（見学歓迎）。

市内南部サークル交流会

- 1月28日（土）18時30分からドーンセンターで開催されました。
- 合同曲は「私の好きなこの街」
- 昂発表曲は「おらあこごがいい」
- 各団体が集い和やかに交流しました。

「紫金草合唱団 北海道公演大成功！」

- 1月17日から19日まで紫金草合唱団は北海道公演に行きました（関西から8名参加）。
- 18日昼に「北海道大学」の教室で100人の学生を前に「紫金草物語」の全曲を演奏しました。
その後30分ぐらい、交流。
- 同日、晩に「クリスチャンセンター」で公演。会場では若い女性が90人以上いてびっくりしましたが、保母さんの研修の一環ということでした。その後、やはり30分ぐらい交流。
- 交流を含め熱心な聴衆で「北海道燃ゆ！」の印象でした。
- 詳しくは「関西紫金草合唱団ホームページ」をご覧下さい。

西島さんの写真遊び



「下を向いて歩こう」: 明石市にて

「子午線や明石大橋タイやタコ」

